

## 修学旅行や校外学習で学んだこと…

早いもので新年度がスタートして1ヶ月が経とうとしています。子どもたちは多忙な毎日のなかで新しい学年や学級において級友との親睦を深めながら、しっかりとした学校生活を送ることができています。

こうした中、4月14日～17日に3年生は九州地方へ修学旅行、4月17日に1年生は毎年恒例の水資源巡りで高知県早明浦ダム、2年生は徳島県あすたむらんどと大塚製薬板野工場へと校外学習に出かけ、それぞれの行き先で貴重な学習をしてきました。

この修学旅行や校外学習には、大きな教育的な意義や価値があります。私が同行した修学旅行では、出発式で3年生に次の2つのことをお願いしました。1つは、実体験を通して、学習の理解が深まるということです。子どもたちは出向いた現地の自然や歴史、文化やそこで暮らしたり仕事をしていたりしている人々の思いや風土などを、直に見たり、聞いたり、触れたり、感じたりすることで、教科書や資料等で学んできた内容の理解をより深めたり、興味・関心を高めたりすることができます。

また、もう1つは社会生活上のルールやマナー、規範意識の重要性を学ぶということです。子どもたちは日頃、学校という社会の中で、学校の誰もが安全に楽しく充実した学校生活を送るためのルールやマナーを学び、身に付けてきています。校外に出れば、そこで生活する社会の一員として、いつも以上にきちんとした行動様式が求められます。現地の人や他の訪問者、周辺の人々に迷惑をかけるように心遣いをすることや交通ルールを厳守することは当然のこととして必要です。また、学年団全員が行動を共にするなかでは、集団行動としての約束事を守らなければならないので、子どもたちはこうしたことをより必要感をもって理解することができます。例えば、時間を守ること、素早く整列すること、人員の確認を厳密に行うこと、連絡・周知事項をよく聞くことなどです。

3月に沖縄県で発生したボート転覆事故を教訓として、文部科学大臣から学校における校外活動の安全確保の徹底を図るよう通達が出ました。年度始めに、本校では校外活動のみならず、全ての学校教育活動において、実施に伴う危険性を理解し、可能な限りの安全対策を講じるよう共通理解を図りました。今後も安全・安心な学校をめざして邁進してまいります。よろしくお願いいたします。



### 確かな学力

昨年は数学科の先生が、自主的に3年生の放課後補習をしてくれていましたが、残念ながら転勤してしまったため、今年は令和6年からやめていた元中学校の先生(学びの支援隊)に来てもらった3年生の放課後補習を復活しました。4/22(水)に1回目の補習が行われ、希望者6名が参加しました。基本的に、毎週水曜日の放課後に1時間の補習を行う予定です。頑張って力を付けてください!



### 豊かな心

ボランティアリーダーから、家庭で不要になった本を集めて、希望者への譲渡や学校図書館・町の図書館に寄贈する活動に取り組んでみたいという相談がありました。現在は被災地支援活動がないため、ぜひしてみようということになりました。書籍類は、資源回収の貴重な資源ではありますが、子どもたちが主体的に取り組む活動ですので、どうぞご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。

